

他地域における人流データを活用した取組事例

地域名	実施時期	実施主体	取組内容	取組の経緯	取得データの種類・計測方法	効果・成果等
埼玉県川越市	R3年11月1日～12月27日	NTT東日本 協力：川越一番街商店街振興組合	・川越市の一番街商店街でスマート商店街の実証実験を実施。 ・川越エリアの人流データ、気象データ、映像データ等を活用し、 ①需要予測機能（直近1週間の来街者数、属性の予測等） ②過去分析機能（過去の来街者や売上から傾向を確認）を提供し、店舗の商品企画・仕入れ、イベント企画等に役立てる。	・商店街ではKKD（勤と経験と度胸）による事業運営が中心で、データ活用により経営分析や発注・生産効率化の意思決定高度化を図る、新たな示唆を得ることで事業に役立てることを狙いとしてNTTから商店街に提案。	【人流データ】 ・過去の人流データの取得（位置、時間、（推計値）自宅や職場の情報など） ⇒プログウォッチャーから収集 ・人数、性別、年代を計測 ⇒AIカメラ（NTT東日本の映像AIサービス） 【その他のデータ】 ・SNS（misosil）や購買データ（エアレジなど様々） ⇒テキスト解析により商品企画に役立てる、購買分析により来街者情報と経営情報の相関可視化を実施	【NTT東日本】 ・商店街からは仕入れなどに生かすことができた、店舗間の相関性がイベントなどの実施の参考になるとの意見をいただいた。 ・一部の機能については、開発を継続している状況 【商店街】 ・飲食店：天気予報や周辺での開催イベントを加味し、来街者の人数を予測するため、食事の数の調整など、フードロス対応に活用。
愛知県名古屋市	R3年度～	円頓寺商店街振興組合 ※連携：名古屋大学安田・遠藤・浦田研究室、NTT西日本、NECソリューションイノベータ	・人流・行動データや属性データ等を取得・分析するとともに、商店街内外の人材の共同の場としてAIラボを設立	調査中	【人流データ】 ・通行人数 ・方向別人数 ・性別、年代別人数 ・時間帯別人数 ⇒AIカメラ（4台）設置 ・商店街周辺の他地域や他店舗から商店街内への人流・属性 ・来街者のリピート率 ⇒GPSデータ	・オープンデータの取り組みによる新規出店希望者とのマッチング ・データを生かしたアイデアピッチの開催
三重県伊勢市	R3年12月21日～R6年3月31日	伊勢まちづくり株式会社	・伊勢市中心市街地9ヶ所にカメラ（3種類）を設置。データを分析し、中心市街地に人を呼び戻し、にぎわいや盛り上がりを創出するためのマーケティングや施策検討に活用する 【設置費用】 約7,000千円 【年間保守費用】 約4,000千円 ※動産保険、電気代、データ解析、レポート提出、24時間サポート等の費用	・イベント開催時や伊勢神宮参拝で増える1月等の参拝者が商店街に与える影響の把握、空き店舗解消、新商品開発イベントの造成に役立てることを目的に実施。	【人流データ】 ・地点通行量（1時間ごと） ・往来別通行量（自転車含む） ・性別、年代別歩行者通行量 【その他データ】 ・気象等データ（天気、平均気温、最高気温、最低気温） ※9ヶ所のうち、人数計測機能のみのカメラと性別年代別を判定するAIカメラを設置している箇所と、人数計測と性別年代別を判断するAIカメラを設置している箇所がある	・1年目で比較するデータがないため、現時点での大きな成果はなし。
山口県山口市	R4年5月～R5年3月	山口県 ※実証実験実施団体：山口市商店街連合会	・AIカメラから取得できるデータ及びオープンデータ等を組み合わせ、分析することで、商店街の活性化及び個店の売上に繋げる 【初期費用】 800,000円（API開発費用） ※人流データと天候データ等のオープンデータと組み合わせた分析を実施するため、商店街DBとの連携用APIを開発 【ランニングコスト】 カメラレンタル： 約1,294千円 ソフトウェア利用料： 1,980千円	・人流データとオープンデータ（天候等）と組み合わせ、来街者の属性や滞留状況等を分析し、ターゲットを定めた商店街イベントや情報発信、商品配列の見直し等を実施する。	【人流データ】 ・地点通行量 ・性別、年代 ⇒AIカメラ（商店街店舗内11か所、店舗休業日は計測なし） 【その他のデータ】 ・人流データの収集段階のため、組み合わせるオープンデータは未定。（天候データ、イベントやセール情報等を想定）	・データ収集を開始したばかりのため成果等はなし。
愛媛県松山市	H31年度～	株式会社まちづくり松山	・松山市内中心部商店街などにAIカメラを設置し、データマーケティング環境の構築を実施（併せてQRコードによる来街・回遊促進の仕組みや消費喚起、売上増を図るためのアプリの提供を実施） 【初期費用】 50,000千円以上 【ランニングコスト】 1,500千円/年間	調査中	【人流データ】 ・通行人数 ・方向別人数 ・性別、年代別人数 ・時間帯別人数 ⇒AIカメラ（18台）設置	・人流の分散化や管理に活用 例）コロナ禍のイベント実施時の初回に混雑ピークを分析し、2回目以降に混雑状況推移を参考情報として開示 ・イベント企画、効果検証に実施 ・QRコードで配信するクーポンやお得情報（店舗情報）の内容調整

本検討会の目指す姿に近いイメージ